

カーボンニュートラル金沢環境行動計画

平成20年1月7日

取組方針

カーボンニュートラル金沢の事業は、『廃食用油からバイオディーゼル燃料を精製する』ことにより、「カーボンニュートラル」（二酸化炭素=炭素循環量に対して中立である）と言う概念においてCO₂のゼロカウントを推進する事業です。

また、当社の事業活動を進めていくと共に、環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 事業活動中での省エネルギー（二酸化炭素排出量削減）
- ② CO₂ゼロカウントであるバイオディーゼル燃料を自ら使用し、その提案普及に努める
- ③ 危険物・化学物質の安全な取扱
- ④ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成20年1月7日

カーボンニュートラル金沢

代表 喜多 紀幸

3 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を削減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標一1	二酸化炭素の排出量（売上高当たり）を、H19年を基準としてH21年までに7300（kg-CO ₂ /百万円）に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・ 休憩時間には使用していない機械の電源を切る ・ 精製機の温度を適正温度に設定する ・ 空調温度を適正（冷房時 28 度、暖房時 20 度）に設定する ・ 換気扇モーターのインバーター制御を検討する ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする <p>（営業部門での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ディーゼル車に変更、バイオディーゼル燃料を使用する ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける ・

目標一2	産業廃棄物、廃棄物の排出量（売上高当たり）を、H19年を基準としてH21年までに2（トン/百万円）に削減する
具体的な取組	<p>（産業廃棄物）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物の分別仕様を再検討し、置き場を整備する ・ 製造工程から発生する金属くずは全てリサイクルする ・ 廃棄物管理票（マニフェスト）の管理を徹底する ・ 不良品の発生状況を記録し、掲示する ・ ウェス、軍手は使用限度を定め、無駄に廃棄しない <p>（一般廃棄物）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める ・ 排出する廃棄物の重さを計り、記録する ・ 詰め替え可能な製品、簡易包装の製品を優先的に選んで購入する ・ 製品をできるだけ長期間使用する

目標—3	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、H19年（40kg/百万円）を基準としてH21年までに37kg/百万円に削減する
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ・社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める ・コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ・電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する
	<ul style="list-style-type: none"> ・作成した資料は、パソコン画面上での確認を徹底する ・社内資料は、両面コピー、縮小コピー、裏紙利用に努める ・コピー機のコピーボタンを押す前に、必ず設定を確認する ・電子メディアの利用によってペーパーレス化を推進する

目標—4	危険物・洗浄剤の安全管理とその他取り組み
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤は、決められた保管場所に保管する ・危険物・洗浄剤・使用済み洗浄剤の容器は、確実に蓋をする ・危険物・洗浄剤を取り扱う社員に対して定期的に安全教育を行う
具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する ・製品、材料、工具は、決められた場所に返却する ・大型機械を扱う作業は、夜間・休日に行わない ・社員による技術提案制度で、環境への取組についても提案を募集する

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、総務課長（環境管理責任者）を委員長とする環境推進委員会を設け、全従業員が「具体的な取組」を実行します。